

歐米初等教育近時の傾向

(フレイベル會二月例会に於ける講演大要)

東京高等師範學校教授 棚橋源太郎

獨逸に於ける作業教授

私は獨逸と米國へ留學を命ぜられました序をもちまして歐羅巴諸國の教育をも視察して參つたのでありますけれども、茲では主として、獨、英、米の三ヶ國に就いて、而も御話を初等教育の範圍に限つて申上げて見度と思ひます。

歐米諸國の初等教育に於きまして、近來著しく盛んになつて、現今の初等教育上に大なる勢力を占めて來ました問題の**一は、教授上の作業主義といふこと**であります。我が國では、**作業といふこと**を、**手工科**の中に含ませてありますけれども、近來はこの二ツを截然區別するやうになりました。成る程、**其の實際形に現はれた上から見ます**

ると、**作業も手工と同様に、紙、粘土、木材等を使つて、いろいろの細工するものには、相違ありません。それ故に、この二ツは全く同じもの、やうに見えるのです。然らば其の異なる點は何處にあるかと申しますと、手工は一の獨立した學科であるのに對して、作業はあらゆる學科に普遍的な教授上の一の主義なのであります。觀察教授が教授上の一の主義である如く、作業もまた教授上の**一主義**なのです。更らに言い換へますと、手工はいろいろの細工から成り立つた技術的の科目でありまして、**手の習練、技能の發達等を目的と致します**のに對して**作業は事物教授の一段階として、すべての教科に通じて施されるのであります。****

そして其の主目的は其等の教科で與へた知識觀念を、主として作業に依つて明確にしやうとするにあるのであります。

即ち或る一の事物に就いて觀察的に教授した事柄を、粘土や紙や之に要する工具を與へて、これを製作し形の上に發表せしむるのであります。獨逸では手工科は教則上獨り女兒にのみ課して、男兒には施さないことになつてゐますけれども、作業は今申し述べたやうな理由で、男女兒を通じて一般に課せられてゐるのであります。

由來、獨逸の教育は主として精神的陶冶に重きを置いてゐましたのに、近來どうして、かういふ作業教育といふやうな問題が盛んになつて來たかと申しますと、それには二ツの原因がある様に思はれます。其の一は英米に於ける職業主義教育の影響で他の一は最近に於ける實驗心理學、實驗教育學の影響であります。

(一) 英米に於ける職業主義教育の影響、理科、手工と云ふ様な點に就いては、英米は獨逸よりも先進國といふことが出來ます。そして英米に於ける普通教育の趨勢といふものは、近來職業主義に傾いて來たのであります。結り、普通教育の理想として職業的堪能といふことを重視して來たのであります。兒童が小學校を卒へて社會に出ますと、直ぐに職業に就くことの出來る修養を與へて置くといふことが、重く見られて來たのであります。さういふ考へから米國などでは、十一二才位から小學兒童を職業學校へ入れて職業的の教育を與へたり、又小學校在學のものにも盛に職業教育をしてゐるのであります。其職業の種類には製本であるとか、染織とか糸や木皮のあみものであるとか、殊に印刷術に至ると、餘程進んだもので、學校で何か生徒の催す會がありますと、其の目錄は必ず生徒の意匠で彼等自らの印刷になる位であります。

其の外、木工、金工などは云ふまでもなく、籠細工、帽子の製造といふ様な類もありませう。

英國に於きましても、高等小學といふのは漸次衰退の傾向を示し、十二歳以上の子供で優等なものは特別の給費を與へて中央學校といふ比較的高い職業教育に重きを置いた學校へ進級せしむるといふやうになつてゐるので、十五六才で其の學校を出ますと、もう立派に一人前の人間として、工場や商店に相當な地位を得ることが出来るのであります。要するに、小學校を終へると直ぐに社會の一員として立つことが出来る資格を與へなければ、教育の重きを得たものではないといふやうに考へられて來たのであります。殊に米國の中等教育に至りましては、この主義が一層發揮されて居ります。米國の中學校は多くは實業的中學であります。故に工業を課して居る中學校は所謂手工業學校であります。手工學校であります。

と云ふのは、工業を主とした中學でありまして大學へ進むもの、爲めに一般的素地を與へると共に大學へ進まない生徒の爲めにも、社會へ出て直に職業に就くことの出来る工業的の自習を課するのです。固より完成した大きな機械などを製作すると云ふまでに至らないのであります。其の部分／＼を立派に作り上げることが出来るやうになつて居りますから、社會へ出て直ぐに役にたつてあります。

英米に於ける此の教育主義は少からず獨逸の教育を刺戟した様であります。其結果、學問的教育精神的陶冶に重きを置いてゐた獨逸は漸く作業主義に傾いて來たのであります。ミュンヘン市の教育課長ケルシエンスタイネル氏は斯くに於ける職業主義教育者の代表者とも見るべき人でありませう。獨逸の作業主義教育を盛ならしめた今一の原因は、實驗心理學、及び實驗教育學の影響であります。

す。

(二) 實驗心理學及び實驗教育學の影響。 輓近に於ける實驗心理學の研究が著しく進歩して來ました結果、運動神經を使へば、腦中樞の發達が助長されて行くものであるといふことが明瞭になつて來たのであります。 結び、手指を使へば、それに伴つて頭腦の生理的發達を促しそれが精神の發達に影響するのであります。 今まで言葉の不十分であつた子供が、手指の神經を働かせた爲めにものを云い得るやうになると言つた様な譯であります。 殊に幼稚園時代から十五六歳までの間が、最も此の手指の動作が必要であります、この時代の心理的要求は、即ち手の仕事を喜ぶといふことにあります。 そしてまた其手の仕事を通して想像、推理等の働きを助け、與へられた知識觀念を動作に表することに依つて一層明確にするといふことが明瞭になつて來たのであります。 これが獨逸の教

育者をして、近來盛なる作業主義に傾かしめた重なる原因であります。

作業教授の實例

前に申しました様に、作業教授は教育上の一つの主義でありますから。 どの學科に對しても行はれてゐるのであります。 例へば、數學にしましても六といふ數を教へれば、直ぐに六つだけの何かの形を紙で剪らせて見る。 國語に於いてAといふ文字を教えますと、直ぐにマツチの棒でAの字の形を作らしめる。 幾何學初步にしても、實物について立方體六面體といふことの觀念を與へると、次に粘土を與へて立方體を作らせて見るのであります。 其の外、理科にしても、氣壓といふことを授けると其應用に簡單な水鐵砲を作らしめ、歴史にありては、野蕃人の用いた器具や、衣類、弓箭などは、木石の片や木の皮などで作らしめ、地理にあつては、簡單な起伏地圖を作らしむると云ふや

うな譯でありませす。最も面白いのは、昔話を手工に發表させるとであります。いろ／＼な色紙を與へて、暗い夜の背景を表す場合には、黒い紙を貼り、星を現す爲めには、黄色の紙を星の形に切つて其の上に貼り、樹なり橋なり、人間なりは同様、その形を作つて、其の上に貼る。斯くして一つの昔話を作り上げることによつてまことまづた、判きりとした理解が子供の心に来ると同時に手藝上の習練ともなるのであります。

女兒に對しては、かういう作業の外に手藝、料理、洗濯等が課せられて、新しく建築された校舎には必らず料理室洗濯室等が設けられて居るのであります。或る女流教育家の如きは、此の料理、洗濯や園藝までも理科教授に連關せる作業教授の中に包含せしめて貰い度いと云ふ發議をして居る位であります。男女を通して手藝手工といふことは、低能兒學校、孤兒院、兒童保護教育所、感化

院或は母親の毎日の仕事に出て留守の中子供を預つて世話する、兒童預り所等に於いて一層盛んに行はれてゐるのであります。不良兒童を善い方に感化し低能なる子供を醫すに利用されて居ります總てかういふ風でありますから、其の影響が一般の家庭にまでも及ばし、家庭に於ける子供の遊戲が矢張り作業的に傾き、遊びと云へば、必ず鋸や鑿を使ひ、針金切り螺旋まはしを使つて何かを作つて居ります。それに飽けば庭へ出て畑を作るといふやうな遊び方をして居るのです。随つて近來の玩具の傾向も矢張り、大工道具であるとか、農具であるとか料理道具であるとか、いふものが一般に流行し、少年書類の如きも、亦同様で獨りで以て人形の舞臺丈の家飛行器人形の道具を造るとか料理遊びや園藝杯に關したものが一番よく讀まれてゐるやうであります。これを以て見ても、作業主義が、一般の家庭にまでも及んでゐるといふことが明かであります。